

2018年度 橋梁保全技術研修

診断評価コース（第5回）

受講者募集のご案内

名古屋大学 橋梁長寿命化推進室

2018年度の橋梁保全技術研修 診断評価コース（第5回）を次のとおり実施しますのでご案内いたします。

なお、診断評価コースは、受講していただくにあたり、事前に橋梁長寿命化推進室が提示する技術的課題に解答していただきますので、ご了承の上お申し込み下さい。

1. 研修内容

橋梁維持管理業務に携わる技術者の方、橋梁維持管理実務を学びたい方などに適した上級コースで、橋梁構造物の劣化予測～性能の評価～対策判定及び対策工について学習します。受講者には名古屋大学より「診断評価コース修了証」が交付されます。

2. 受講資格

本研修の受講にあたっては、以下に示す AまたはBのいずれかの資格が必要です。

（一法人当たりの受講者数に制限を設けておりますのでご注意ください。詳しくは「6. 受講申込受付、締切」をご覧ください）

- A. 橋梁保全技術研修「検査点検コース」修了証取得後、橋梁保全業務の実務経験2年以上有すること。※対象者は修了証番号122001～152113の検査点検コース修了証をお持ちの方で修了証取得後、橋梁保全業務の実務経験2年以上の方です。修了証をご確認、ご用意の上お申込みください。

実務経験とは、橋梁保全業務を直接扱う機関（又は組織、セクション）に在した期間の暦月合計とする。橋梁保全業務とは、橋梁に関する巡回点検等の日常管理、設計、設計監理、工事（発注、施工、監督、施工管理）及び研究・開発業務の内、維持管理に関する業務をいう。

- B. 以下のいずれかの資格を有すること。

- ・技術士（建設部門）
- ・土木学会1級土木技術者（A）、（B）
- ・土木学会上級土木技術者（A）、（B）
- ・土木学会特別上級土木技術者
- ・土木鋼構造診断士
- ・コンクリート診断士
- ・コンクリート構造診断士
- ・RCCM
- ・岐阜大学ME

3. 研修プログラム

《第1日目》

カリキュラム	講師	形態
診断の重要性と技術者倫理	名古屋大学	講義
構造物の診断(評価・判定)	岐阜大学	講義
実橋の劣化※希望者のみ	研修事務局	ニュー・ブリッジ
劣化予測～評価～判定 (RC 橋・PC 橋)	外部講師	講義
劣化予測～評価～判定 (鋼橋)	外部講師	講義

《第2日目》

カリキュラム	講師	形態
対策 (鋼橋)	外部講師	講義
対策 (RC 橋・PC 橋)	外部講師	講義
道路橋の維持管理全般 (橋梁構造物全般) 及び課題について班毎に討議・発表	外部講師	講義
道路橋の維持管理全般 (鋼橋の疲労きれつについて) 及び課題について班毎に討議・発表	外部講師	講義

(1) 都合により、カリキュラムが変更になる場合があります。

4. 技術的課題

研修受講にあたり、事前に取り組んでいただく技術的課題の取り組みがあります。詳細は受講決定後に通知いたします。

5. 期日、定員、開催場所

期 日	定員	場 所
2018年5月22日(火)、23日(水) (2日間)	約35名	名古屋大学 東山キャンパス (愛知県名古屋市千種区不老町)

(1) 毎日の受講時間は、9時～17時30分の予定です。

6. 受講申込受付、締切

(1) 受講申込は、Webサイトから行ってください。

Webサイトの研修申込ページ

(https://www.n2u-bridge.jp/education/permanent_training/)に、受付期間に開設されるフォームへ、必要事項を入力し送信ください。

(2) 受付開始：2018年4月5日(木) 9:30 開始

(3) 締 切：2018年4月12日(木) 17:00 まで

※申込フォームへの入力事項

- ① 氏名
- ② 性別
- ③ 勤務先(正式名称)
- ④ 書類送付住所

- ⑤ メールアドレス
- ⑥ 電話番号(つながりやすい番号を記してください。)
- ⑦ 受講資格の確認(検査点検コース修了後2年以上の橋梁保全に関する実務経験又は保有資格)
- ⑧ 検査点検コース修了証番号(実務経験でお申込みの場合のみ)
- ⑨ 実務経験(略歴を記入。検査点検コース修了後の橋梁保全業務実務経験2年以上で受講される方は、業務内容が確認できるようご記入ください。例:2000年〇×(株)入社 ×部 2010年より〇業務4年現在に至る)

入力漏れや受講資格が確認できない場合、Web受付完了後でも受講をお断りすることがあります。

- ※ 終日受付いたしますが、初日は9:30から開始し、最終日は17:00で締め切ります。
- ※ 受講申込みは先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。
- ※ **受講者数は、一法人(会社、団体、行政機関等)4名までとし、超過した応募者は受講をお断りさせていただきます場合がございますのでご了承下さい。**

(4) 受講が決まった方には

- ① 応募締切から10日程度で受講料払込用紙(納入依頼書)、受講申込書類を郵送します。10日を過ぎても書類が届かない場合はご連絡ください。
- ② ①でお送りした納入依頼書から指定期日までに受講料をお支払いください。振込手数料をご負担ください。納入依頼書に付属の払込受領書もしくは金融機関発行の受領書を受け取って下さい。
- ③ 「受講申込書」に必要事項を記入の上、②の「払込受領書」(コピー)を貼り付けて郵送してください。また、保有資格のコピーもしくは実務経験証明書(様式は添付)を添付の上郵送してください。
- ④ 「受講申込書」受理後、「受講票」、「手引き」を郵送いたします。

7. 受講料 20,000円(税込) ※振込手数料をご負担下さい。

(受講者の都合で受講を取り消す場合など、納付済みの受講料は返還しません。)

8. 荒天の場合について

荒天などによる研修の中止判断は名古屋大学の規定に準じます。

暴風警報(名古屋市)が6:45まで解除されない場合は研修を中止します。中止となる場合、その後の対応については、別途ご案内いたします。不明の場合は当室Webサイトか7:00以降に携帯(090-6760-6322)へご連絡ください。

9. 個人情報の取扱いについて

お預かりした個人情報は、「名古屋大学個人情報保護規程」に従い、適切に管理し、定められた利用目的の範囲を超えて利用及び提供はいたしません。ただし、本人の了承・同意がある場合や、法令に基づく場合は除きます。

◆今後の研修・判定試験のお知らせ◆

※期日などは変更する場合があります。HPの最新情報をご覧ください。

※受付期間は会期の2ヶ月程前にHPにご案内します。また、メールニュース配信もいたします（配信登録者）。

(1) 基礎コース（2日間）

		期日	定員
第13回	A日程	2018年9月19日(水)、20日(木)	1日目約60名※ 2日目約30名
	B日程	2018年9月19日(水)、21日(金)	
第14回	A日程	2018年12月11日(火)、12日(水)	1日目約60名※ 2日目約30名
	B日程	2018年12月11日(火)、13日(木)	

※1日目の講義は、A日程およびB日程と合同で開催します。

(2) 検査点検コース（3日間）

	期日	定員
第30回	2018年 6月 19日(火)～21日(木)	約21名
第31回	2018年 7月 17日(火)～19日(木)	約21名
第32回	2018年 10月 16日(火)～18日(木)	約21名
第33回	2018年 11月 20日(火)～22日(木)	約21名
第34回	2019年 1月 15日(火)～17日(木)	約21名

※検査点検コースには、実務経験年数等の受講制限があります。HPでご確認ください。

※第30、31、32回の初日は橋梁点検士登録更新講習とあわせて研修を行います。

(3) 診断評価コース（2日間）

※今年度の開催は第5回のみです。

(4) 橋梁点検士判定試験および橋梁診断士判定試験

平成30年8月26日(日)

※受験に際し、修了証には有効期限(3年)があります。

※詳しくは当室HPをご覧ください。

《お問い合わせ》

名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻 橋梁長寿命化推進室

〒464-8603 名古屋市千種区不老町 工学部9号館 4F 9-429

電話&FAX: 052-789-3726 E-mail: N2U-BRIDGE@civil.nagoya-u.ac.jp

HP: <https://www.n2u-bridge.jp/>

2018年4月